

腸管出血性大腸菌 (O-157)

- ・ **原因物質**

腸管出血性大腸菌 (*Escherichia coli* O-157)

- ・ **特徴**

牛などの腸管に存在する菌で、生食用の食肉、サラダ、和え物等が原因食品となることが多く、未滅菌の井戸水を介した感染や二次感染もあります。

この菌は熱に弱く、75℃1分以上の加熱で死滅しますが、少量でも発症するため、食品の中心部まで熱を通す必要があります。

- ・ **原因食品**

生食用の食肉、未滅菌の井戸水等

- ・ **潜伏期間**

2～7日

- ・ **症状**

激しい腹痛、水様性下痢、血便等